

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	からだと栄養Ⅱ						授業形態		講義	
科目コード	307700	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川北 久美子								ICT活 用	○
授業概要	からだと栄養Ⅰやからだと疾病Ⅰで学んだ知識をもとに五大栄養素の消化吸収について学ぶ。また個体維持のためにヒトに備わっている摂食行動について学ぶ。消化・吸収については、消化器系の構造や機能、関連するホルモンや消化酵素、それぞれの分泌細胞や作用機序、吸収機構を理解し、小腸から吸収されてからの栄養素の各組織への運搬・利用・貯蔵などの機構についても理解を深める。また消化管と免疫の関わりや免疫と栄養についてもふれる。									
関連する科目	同時期にからだと疾病Ⅱを受講することが望ましい。履修後は生化学、臨床医学を受講し理解を深めることが望ましい。									
授業の進め方 と方法	書きこみ式のプリント教材を配布する。教科書や配布プリント教材で事前に自学自習を行う。授業でわからなかった点は、教員に質問し、質疑応答しながら完成させ、理解を深める。次回復習テストまでに知識を整理する。復習テスト後は教員から解答を全員に提示し、ポイントの補足説明などを行う。各自疑問点などを確認する。また項目ごとで関連する国家試験問題を提示し、授業内容とリンクさせ、学んだことがどのように出題されるかを説明する。 Google フォームなどのICTを活用して進める。また授業プリントのフィードバックは、ユニバのクラスプロファイル上で行う。									
授業計画 【第1回】	消化吸収のしくみ① ・消化器系の器官、消化管の構造と機能について学ぶ。 ・口腔・咽頭・食道の構造と機能について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	消化吸収のしくみ② ・胃・小腸・大腸の構造と機能について学ぶ。 ・肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能について学ぶ。 ・腹膜の構造と機能について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	代謝のしくみ ・三大栄養素の代謝の概要を学ぶ。									
授業計画 【第4回】	食物摂取と消化器系 ・消化吸収の調節機構と栄養素別の消化過程の概要を学ぶ。									
授業計画 【第5回】	タンパク質の消化吸収① ・タンパク質の管腔内消化とその調節について学ぶ。									
授業計画 【第6回】	タンパク質の消化吸収② ・タンパク質の吸収について学ぶ。									
授業計画 【第7回】	糖質の消化吸収① ・糖質の管腔内消化とその調節について学ぶ。									
授業計画 【第8回】	糖質の消化吸収② ・糖質の吸収について学ぶ。									
授業計画 【第9回】	脂質の消化吸収① ・脂質の管腔内消化とその調節について学ぶ。									
授業計画 【第10回】	脂質の消化吸収② ・脂質の吸収について学ぶ。									

授業計画 【第11回】	ビタミンの吸収 ・脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンの吸収について学ぶ。
授業計画 【第12回】	ミネラルの吸収 ・主にカルシウムと鉄の吸収などについて学ぶ。
授業計画 【第13回】	摂食行動 ・摂食の調節について学ぶ。
授業計画 【第14回】	防御のしくみ① ・生体の防御機構と皮膚と粘膜の防御について学ぶ。
授業計画 【第15回】	防御のしくみ② ・免疫のしくみについて学ぶ。 ・栄養と免疫について消化管と免疫の関わりや免疫に対する栄養素の作用について学ぶ。
授業の到達目標	1. 栄養素の消化・吸収機構を理解して、体内における役割を理解する。【知識、理解の育成】 2. 体内リズムの重要性や免疫に対する栄養素の作用について理解し、よりよい食、生活習慣を考えることができる。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	予習課題を事前に与えるので、各自Formにアクセスして回答する、もしくは配布プリントに教科書を見ながら書き込みをする。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	授業で習った内容について必ず教科書を読み返すこと。ユニバ上にプリント教材の解答を随時アップロードするので、書き漏らしや書き間違いを必ず追加訂正しておくこと。 授業の最初に前回授業内容にかかる復習テストをするので復習しておくこと。(約1時間)
課題に対する フィードバック	予習課題については取り組みを授業前にチェックする。 配布プリント教材の解答はユニバ上にアップロードするので、書き漏らしや書き間違いを追加訂正しておくこと。 復習テストについては毎回答え合わせをする。回収後チェックして返却する。 定期試験について試験前後で必要事項の解説および質疑応答をする。試験に対する質問には個別でも対応する。
評価方法・基準	復習テスト(10点) 予習課題の取り組み、提出物(10点) 定期試験(80点)
テキスト	生体のしくみ 標準テキスト第3版 新しい解剖生理 高松研、堀内ふき監修(医学映像教育センター) 生化学・基礎栄養学 第3版 池田彩子他 編著(朝倉書店) 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第5版 田地陽一 編 (羊土社)
参考書	栄養学の基本 人体の理解と栄養学の基礎 南久則 編 (医歯薬出版株式会社) 必要に応じて資料を配布する。
備考	